

みなさまの健康と心の支えに
新潟県厚生農業協同組合連合会 広報誌

支えに *Sasaeni*



支えに 2022年7月発行

Vol.40

ご自由に
お持ち
ください



病院のお仕事発見「助産師」編 「助産師」を知っていますか？

- 季節の病気
- JAグループ新潟による医師確保の取組への支援について
- 地域医療ってどうなるの？
- イベントレポート ●ホームページリニューアル
- カタチde脳トレ

JA新潟厚生連はSDGsに貢献します

県内13の病院が地域の皆さまの健康と心を支えます

- 佐渡総合病院（佐渡市）
- 真野みづほ病院（佐渡市）
- 柏崎総合医療センター（柏崎市）
- 上越総合病院（上越市）
- 村上総合病院（村上市）
- 豊栄病院（新潟市北区）
- あがの市民病院（阿賀野市）
- 新潟医療センター（新潟市西区）
- 三条総合病院（三条市）
- 小千谷総合病院（小千谷市）
- けいなん総合病院（妙高市）
- 糸魚川総合病院（糸魚川市）



NEW いつまでもわたしらしく 認知症共済

——生涯にわたって備えられる認知症の保障——

ポイント1

認知症はもちろん、認知症の前段階の
軽度認知障害(MCI)まで
幅広く保障します。

ポイント2

認知症の予防・早期発見から
発症後までトータルでサポートする
各種サービスがご利用いただけます。

ポイント3

簡単な告知で
ご加入いただけます。

※ご加入いただける年齢40~75歳

共済金のお支払いには所定の条件があります。

●ご加入にあたりましては、お近くのJA（農協）へお問い合わせください。●この広告は概要を説明したものです。ご契約の際には「重要事項説明書（契約概要・注意喚起情報）」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。



JA共済相談受付センター（JA共済全日本本部）

0120-536-093

※日曜日、祝日および12月29日～1月3日を除きます。

※メンテナンス等により予告なく変更する場合があります。

※電話番号は、おかげ間違ひのないようご注意ください。



●JA共済をもっと身边に、もっと便利に。●Webマイページにワンタッチで!
●もしものときの連絡もアプリから! ●くらしに役立つコンテンツも満載!
※アプリご利用時の通信料は、ご利用者さまのご負担となります。※スマートフォン
向けアプリのため、スマートフォンの場合はご利用いただけません。また、お使いの
スマートフォンの機種、設定等によってはご利用いただけない場合があります。



Webマイページ
ご登録キャンペーン
「Webマイページご登録キャンペーン」実施中!
<https://mypagecp.ja-kyosai.or.jp>



くらしの保障、相談するなら

JA共済

耕そう、大地と地域のみらい。JAグループ

22481050074

病院の お仕事発見

「助産師」編

生命の誕生に深く携わる、助産師。妊娠、出産、育児、更年期…女性の一生を支え、ケアする専門職です。

女性の心と身体を きめ細やかにサポート

出産前から出産時、そして出産後に渡り、母子の心身の健康を支える助産師。出産前は、妊娠期間の生活や健康の指導はもちろん、父母になる心構えを伝え、出産に関する不安や悩みなどにも寄り添います。出産時には、お産を助け、赤ちゃんを取り上げる分娩介助。出産後は、母子の体調管理から母乳指導、退院後の生活や育児に関するアドバイスなども行い、新しい命を迎えた家族が安心して暮らせるように、きめ細やかにサポートしてくれます。

のケアなども助産師の仕事の一部なのです。

心に寄り添う

コロナ禍での取り組み

コロナ禍となり、2年以上。厚生労働省が発表した2021年の出生数は、6年連続で過去最少の約82万人でした。長岡中央総合病院も例外ではなく、出生数は大幅に減少。対面での保健指導や母乳指導が困難となり、面会や立ち合い出産も叶わない状況だといいます。「映像配信や食事の工夫などを取り入れながら、気づきを大切に、今まで以上に心と身体に寄り添うよう心掛けています」と久賀美里助産師。出産の不安を笑顔へと導いてくれる、温かく力強い体制が整っています。

助産師の主な仕事内容

分娩介助

破水や陣痛の間隔、血圧、体温などをチェックしながら、いきみ方や呼吸法の指導を行い、出産が安全にスムーズに進むようにサポートします。正常分娩であれば医師の指示を必要とせず、自身の判断で介助ができます。

保健指導

出産前から産褥期(出産から6~8週間)、1ヶ月健診に至るまで、母子の健康状態を把握。医師などと連携しながら、正常な分娩が行えるよう支援します。また、院内や自治体での母親学級も保健指導の一環です。

新生児ケア

出産直後の呼吸を促したり、へその緒を切断したり、身長や体重の測定も行います。赤ちゃんが子宮外の生活に慣れていくように、栄養管理や体温調節、皮膚状態、呼吸観察などを中心に、サポートしていきます。

長岡中央総合病院
助産師 久賀 美里

当たり前が当たり前でない今だからこそ、妊婦さんとの関わり方が重要になります。入院準備や母親学級など対面で行っていた保健指導をYouTube配信でカバーしたり、元気がなかったら食事を少し豪華にもらったり…常に何かできることはなかなか模索し続けています。

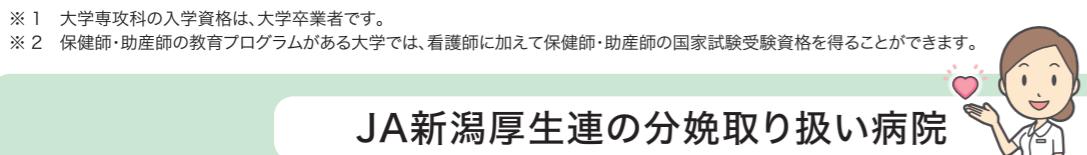


助産師になるには

助産師になるには、国家資格である看護師資格と助産師資格の2つが必要となります。看護師の資格を経た後、大学や短大、養成学校などで1年以上必要な知識などを学ぶことで、助産師国家試験の受験資格が与えられます。また4年制大学の看護部などにある助産師養成課程に進み、卒業見込みとなる年に両方の国家試験を受験・合格することで、卒業後すぐに助産師として働きはじめることも可能です。



高等学校を卒業



- 糸魚川総合病院（糸魚川市）
- 上越総合病院（上越市）
- 柏崎総合医療センター（柏崎市）
- 小千谷総合病院（小千谷市）
- 長岡中央総合病院（長岡市）
- 村上総合病院（村上市）
- 佐渡総合病院（佐渡市）

※1 大学専攻科の入学資格は、大学卒業者です。

※2 保健師・助産師の教育プログラムがある大学では、看護師に加えて保健師・助産師の国家試験受験資格を得ることができます。

資格取得後のキャリアプラン アドバンス助産師

2015年からはじまった、一般財団法人日本助産評価機構「CLoCMiP(クリニカルラダー)レベルⅢ認証制度」の認証を受けた助産師を“アドバンス助産師”と呼びます。これは、更新制度のない助産師資格において、助産実践能力を客観的に審査する仕組みです。所属施設の看護部長による承認を必要とし、書類審査、本試験を通過してはじめて、アドバンス助産師の認証が得られます。



長岡中央総合病院
アドバンス助産師
ヨシダ ヤスコ
吉田 康子



SDGsに関連する取り組みとしてロゴマークを表記しております。

インタビュー

私は、助産師の仕事が大好きです！

厚生連職員のための奨学金制度で、看護師から助産師への夢を実現！

曾祖母が産婆だったことから、幼い頃から憧れを抱いていました。看護学校時代のお産の見学で、生命の誕生とともに寄り添う助産師の姿を目撃したのも大きかったです。看護師として産科病棟に4年間勤務している中で、お産に関する知識不足を痛感。JA新潟厚生連の奨学金制度と就職支援というバックアップもあり、1年間の休職を経て、安心して資格を取得できました。

上越総合病院
助産師 小林由佳



長岡中央総合病院

アドバンス助産師 吉田 康子

2008年看護師免許取得、2009年助産師免許取得後、JA新潟厚生連長岡中央総合病院産婦人科病棟に勤務。2015年アドバンス助産師に認証され、2020年認証を更新。2021年10月からは新生児治療室に勤務。



務している中で、お産に関する知識不足を痛感。JA新潟厚生連の奨学金制度と就職支援というバックアップもあり、1年間の休職を経て、安心して資格を取得できました。助産師は、2つの生命を預かる責任の重い、瞬時に適切な判断が求められる仕事です。未熟な部分を少しでも補い、頼りにされる助産師を目指します。

声掛けと気づきを大切に。助産師資格を生かしてお産に限らず幅広い世代を支える。

佐渡総合病院
助産師 伊藤久美子

新人看護師時代に配属されたのが、産婦人科病棟。そこで感じたのは、看護師では内診ができない、もっとお産をサポートしたいという想いででした。そ

の後、助産師資格を取得し、現在は外来で妊婦健診を中心に行っています。助産師としてキャリアを積むに連れ、本当に女性の一生に携わる仕事だと実感。患者さんの中には、女性特有の症状で悩んでいたり、我慢したり。そういう女性を支援したいと、常日頃から声掛けと気づきを大切にしています。受診や相談、指導を通して出会えたことで、少しでも良い方向に進んでくれたらと願っています。



**助産師としてさらにキャリアアップ！
深い知識と確かな技術を生かして
新生児治療室で母児に寄り添う。**

**感動から決意！
女性にしかできない仕事**

中学生の時、性教育の授業の一環でお産の映像を観たのです。私はこうやって生まれてきました。だと純粋に感動して。この瞬間に携わるにはどうしたらいいのかを考え、調べた結果、助産師に行きました。人でないと携われず、女性でないとできない。妊娠や出産の場面だけではなく、人の一生、「生命」の部分で関わられる仕事だと考えます。

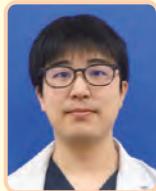
**助産師全員が指導者！
行き届いた教育システム**

長岡中央総合病院に勤務して13年。新人時代、先輩方から手厚く助産師業務を指導をしていました。当たったのをよく覚えています。その当時は、マンツーマンという形だったのですが、今は全員が指導者。病棟全体で情報を共有しながら、目標や段階を設定しています。安心して知識や技術が身につけられるのはもちろんですが、指導している私たちも改めて気づかされることがあります。

頼られ、印象に残る助産師へ

現在、24時間体制の新生児治療室を担当しているのですが、今まで以上にお母さん方のケアが必要だなど感じています。治療が必要な赤ちゃんとは母子分離の状態が多く、母乳をあげたり、抱いたりできるごく当たり前の時間が限られます。表情を見逃さず、心配事を引き出し、共有できるように心がけています。私自身も出産経験者。知識を押し付けのではなく、困ったときに私の顔が浮かび、またここで産みたいと思ってもらえるような存在でありたいと考えます。

※撮影時のマスクを外しています。



あがの市民病院
内科・医長
ゴトウ ケイ
後藤 慧

脱水症は身体に含まれる水分(体液)の量が減少することにより発症します。体液は水だけではなくナトリウムなどの電解質を含む水分で構成されており、脱水症では水とともに電解質も減少します。1年を通して起こる可能性がありますが、暑い夏・暖房器具で空気が乾燥する冬・季節の変わり目などの時期に多くみられます。

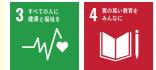


初期症状

脱水症の初期症状は、口やのどの渇きです。脱水の程度が進行すると、全身のだるさ、脱力感、皮膚の乾燥、皮膚をつまんだとき元に戻りにくい、吐き気、嘔吐、手足のふるえ、けいれん、意識の障害、腎機能の低下、血圧の低下など重篤な症状を認める場合もあります。

予防方法

症状が現れる前に、意識してこまめな水分摂取を行いましょう。コーヒーや紅茶などのカフェインを含む飲料やアルコール飲料は利尿作用があり体液の喪失を促すため、水分補給目的での摂取はお勧めできません。大量の発汗があるときは、水分とともに適度な塩分摂取も行ってください。



治療方法

飲水ができないくらいに具合が悪い場合や水分・塩分補給を行っても症状が改善しない場合は、速やかに医療機関を受診してください。体液の喪失により失われた水分、電解質を補うための点滴治療を行います。

その他(注意すべきこと)

暑い時期や空気の乾燥する時期は自覚なしに体液の喪失が多くなる場合があり、食事量や水分摂取量に大きな変化がなくとも数日以内の急激な体重の減少を認めるときは脱水症を疑います。心疾患や腎疾患をお持ちで利尿薬を処方されている方や水分の制限を指導されている方は目標とする体重を主治医に相談し、その体重の維持を目指した水分摂取を行うと良いでしょう。

JAグループ新潟による医師確保の取組への支援について

地域枠^{※1}にかかる新潟県と杏林大学及び厚生連の協定締結

新潟県内の医師不足及び医師の地域偏在を解消すること並びに安定的な地域医療を確保することを目的に、三者(新潟県、杏林大学、厚生連)が相互に協力することに合意。医学生養成、医師配置等に関して令和3年12月22日に協定締結を致しました。

JAグループ新潟による支援

左の地域枠にかかる新潟県医師養成修学資金に対してJAグループ新潟から支援を頂くことになりました。地域医療を安定的・継続的に提供していくため、将来、厚生連病院で勤務する医師を確実に確保する事に繋がっていきます。

新潟県は、テレビや新聞等で報道されているように「医師偏在指標」^{※2}で全国47位(最下位)に位置付けられる「医師不足県」です。

県内7つの医療圏のうち新潟圏域以外の6医療圏が医師少数区域と位置付けられています。医師偏在指標によると全国平均で239.8人に対し、新潟県平均は172.7人、新潟圏域は224.5人、それ以外の6圏域は150人に達しておりません。今後新潟県の地域医療を継続していくためには医師の確保は必須になります。

※1 地域枠とは、地域医療に従事する医師を養成することを主たる目的とした学生を選抜する枠のことをいいます。

※2 全国ベースで医師の多寡を統一的・客観的に比較・評価する指標として設定されました。



オンライン母親学級で出産準備をしましょう!

~上越総合病院の取り組み~



助産師
トピックス

妊婦さんに寄り添う新しい母親学級



自宅から気軽にアクセス。
もちろん夫婦で参加もOKです



入院生活をイメージできる動画。
病院職員が撮影・編集しました

JA新潟厚生連の採用サイトでは、
助産師のお仕事を紹介しています!

[採用サイトURL]

<https://www.niigata-kouseiren.or.jp/saiyo/>



詳しくは
こちらから
ご覧いただけ
ます



奨学金制度のごあんない
パンフレットがあります



詳しくは
こちらから
ご覧いただけ
ます

JA新潟厚生連には助産師になるための
奨学金制度があります

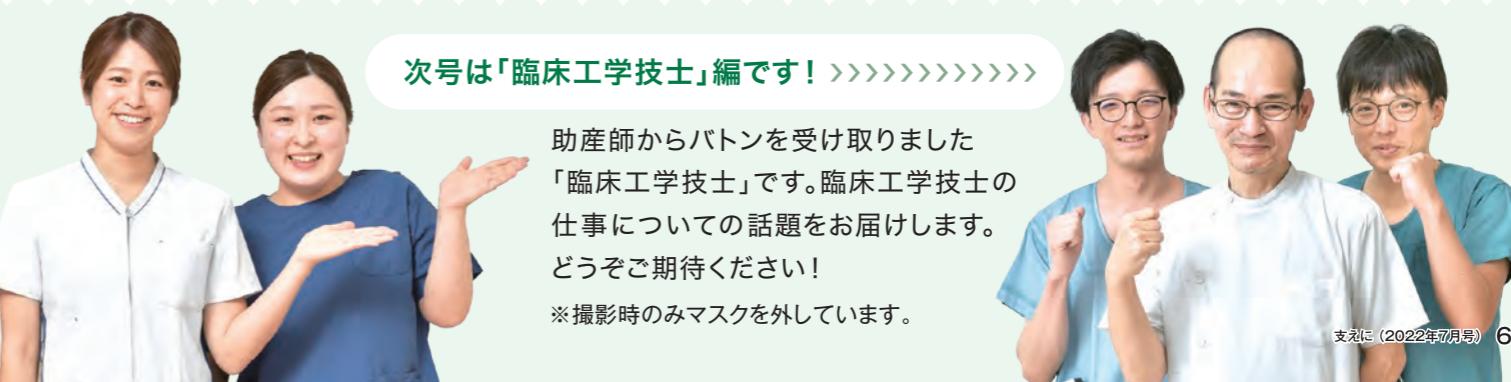
【看護専門学校から進学・編入する場合】

- 対象者: 助産師学校に進学または助産師資格取得のため看護大学に編入学し、卒業後に助産師として本会が運営する病院に勤務できる方
- 金額: 1ヵ月10万円
- 返済について: 本会運営の病院に3年間継続勤務した場合は、返済を免除します。

詳しくは
こちらから
ご覧いただけ
ます



また、看護師からのキャリアアップも支援しています。



地域医療ってどうなるの？



知っているようで知らない医療のコト。少子高齢化が進み、人口構造が変化している今、地域で必要とされる医療は転換点にさしかかっています。地域全体が最適となる医療体制を目指す。そんな考え方から生まれた「地域医療構想」の視点からみなさんの疑問に答えていきます!!!!

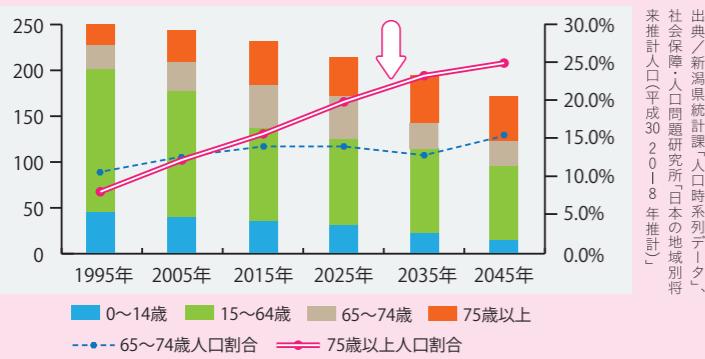
Q1

地域医療構想が必要な理由は？

A

少子高齢化により人口構造が変化！

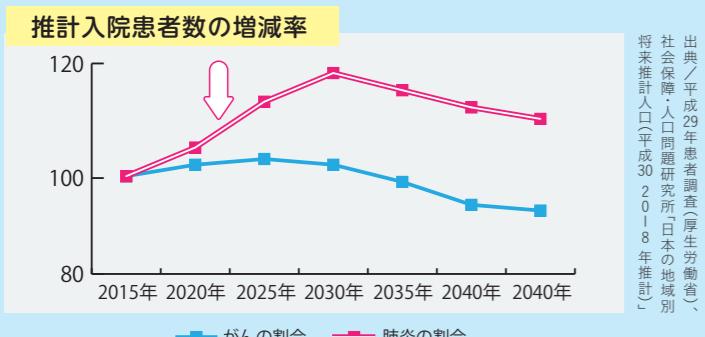
人口減少が進む中で75歳以上の後期高齢者の割合が増加する見込みです。人口構造の変化は、そのまま医療ニーズの変化につながり地域医療に影響します。将来に対応する医療体制が必要です。



A

人口構造の変化により、必要な医療が変わる！

後期高齢者の割合の増加により、肺炎や骨折などの割合の増加が見込まれ、若年層の減少などにより、従来の急性期機能を中心とした医療のニーズは減少していく見込みです。



A

限られた医療資源(医師等)で最大限の効果が必要！

病院や病床が多くても、病院ごとの症例が少ないと、医療の質が向上しにくくなります。今後も地域に必要な医療を提供していくため、医療ニーズに合わせ医療資源(医師等)を集め、「専門的な手術や救急に対応する病院」や、「後期高齢者に多い肺炎等の入院を中心に対応する病院」など役割分担の検討が必要になってきました。

Q2

地域医療構想で何が変わるの？

A

役割分担が明確になり医療の質が高まります

専門的医療から在宅医療まで、関係機関の役割分担と切れ目のない医療連携により質の高い医療を提供するために、急性期を脱したら回復期の病院に転院するなど地域全体で医療連携を進めます。



A

医師の確保につながることが期待されます

「地域で高度な医療を支える柱となる病院」の体制を強化し、専門的な手術や救急で質の高い医療を提供し、若手医師の研修先や勤務先として魅力的な医療環境を構築します。



A

役割分担と連携により医療機能を維持する体制に

「地域で高度な医療を支える柱となる病院」から周辺の病院へ医師を派遣するなど、各医療圈で限られた医療資源(医師等)を医療ニーズに応じて適切に配置することにより、地域に必要な医療機能を維持する体制を構築します。

「地域医療構想」とは？

将来の医療ニーズに対応した医療体制をつくるため、医療機関の役割分担や連携の仕組みを構築する取組みです。

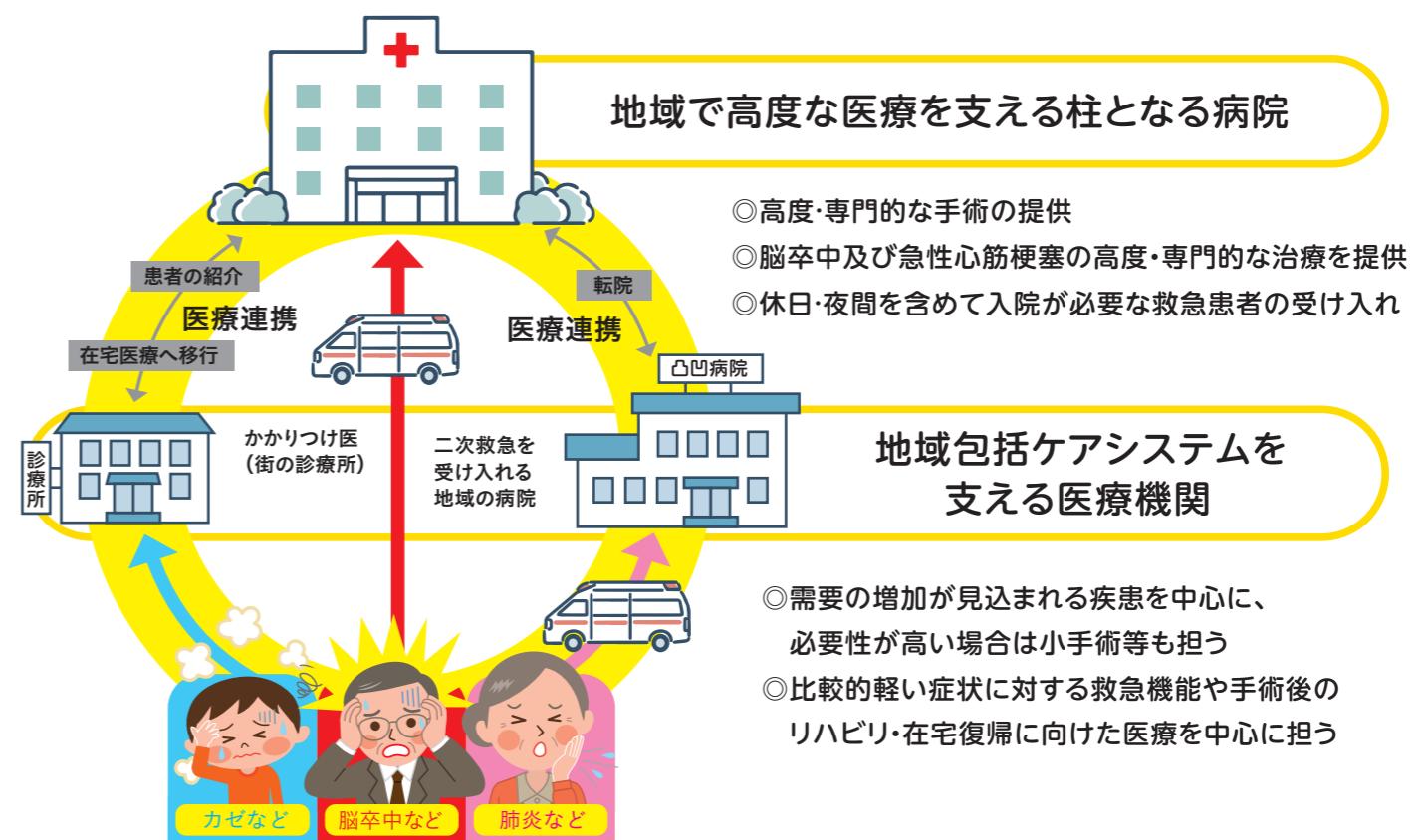
Q3

地域医療構想を実現するために私達は何をすればいいの？

A

一人ひとりの理解が医療を支えます

- 各医療機関には、それぞれに地域で求められる“役割”があること
- 地域の医療ニーズなどに合った、適正な医療機能・規模である必要があること
- 各医療機関の適切な「役割分担」により、最大限の能力を発揮すること



日常の外来医療は身近なところで治療。

高度な医療を伴う入院医療は少し遠くなっても、

質の高い医療が地域内で受けられる体制をつくることが大切。

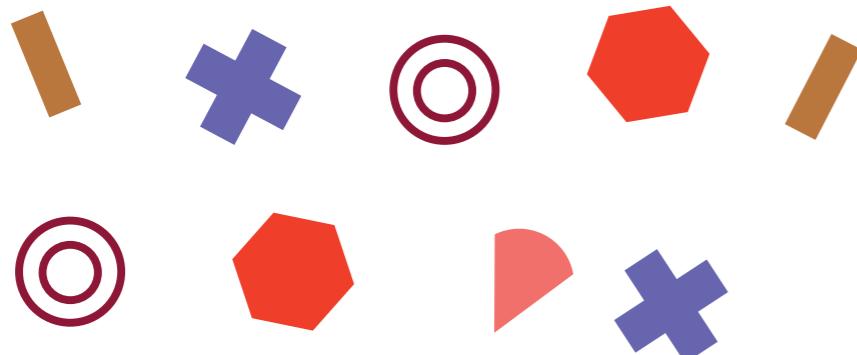
アタマのトレーニング!

力タチ de 脳トレ

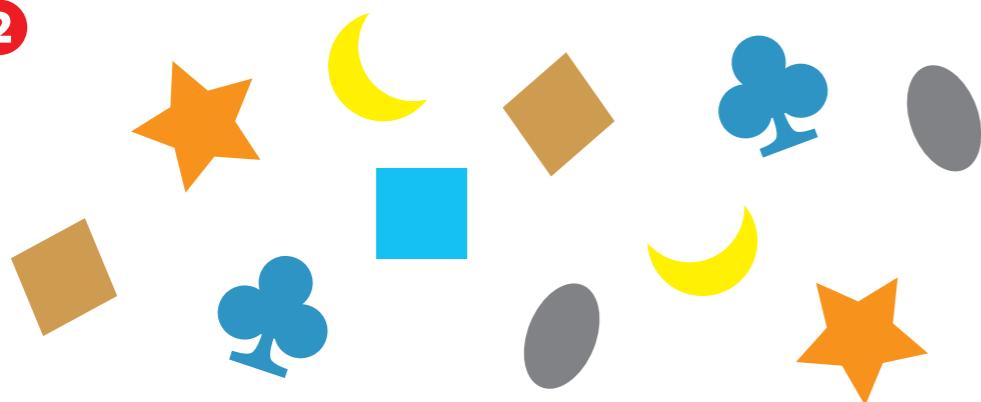
例題)



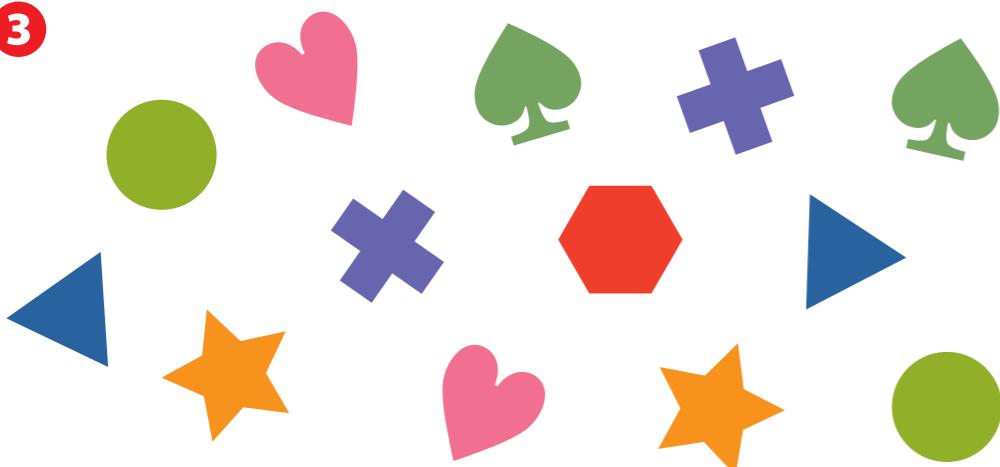
1



2



3



图形クイズ

よく見て確認
仲間はずれを見つけよう!

じっくり
見ると
わかるよ!



JA新潟厚生連のホームページを
リニューアルしました。

当会で活躍する職員の姿や健康・医療情報の発信など、ご利用者の皆様に当会への理解を少しでも深めていただけるよう、定期的に情報発信をしていきますので、どうぞ宜しくお願いします。



JA新潟厚生連について

病院・施設をご案内しています

JA新潟厚生連を動画で紹介しています

リクルート専用ページです

新着情報を日々更新しています

健康や医療情報を発信しています



JA新潟厚生連ホームページURL <https://www.niigata-kouseiren.or.jp/>

JA新潟厚生連
イベントレポート

けいなん総合病院

看護師による人命救助 令和3年12月

上越市内で発生した住宅火災で住民の方の救助・応急手当を行ったとして、けいなん総合病院の今井長子看護師が上越消防署から感謝状、本会JA新潟厚生連から表彰状が授与されました。



右:当会田中納次理事長

あがの市民病院

新発田北蒲原医師会阿賀野支部学術講演会 6/20月

オンラインで当院講堂を視聴会場とし、当院医師と新潟大学血液浄化療法部山本准教授に講演して頂きました。

中学校講演会 7/13水

藤森病院長は毎年地元の安田中学校の生徒たちへ、薬物依存・タバコの危険について啓発活動を行っており、興味本位で手を出さないよう注意喚起を促す講演を実施しています。

新潟県厚生連 佐渡看護専門学校

戴帽式 5/12木

佐渡看護専門学校では5月12日に2年生の戴帽式を行いました。キャンドルサービスで受け継いだ看護の精神を胸に、これから始まる基礎看護学実習に臨みます。



個人情報の取り扱いについて

個人情報などお寄せいただいた内容は、本会において適切に管理いたします。また、本会からの各種ご連絡、出版物などのご案内などにも利用させていただく場合があります。

ご意見・ご感想をお寄せください

本会では、「患者さんの声」を病院の経営に反映させることが大切と考えております。皆様からお寄せ頂いた貴重なご意見・ご要望などを積極的に活用しながら、より充実した医療・保健・福祉を提供する体制を整え、患者さんの気持ちに寄り添った心温かいサービスを心がけてまいります。皆様からのご意見・ご感想は、下記まで電話、FAX、お手紙でお寄せください。

新潟県厚生農業協同組合連合会 総務部 〒951-8116 新潟市中央区東中通一番町86番地109 tel.025-230-2662 fax.025-228-0990

新潟県厚生農業協同組合連合会 広報誌 2022年7月号
〒951-8116 新潟市中央区東中通一番町86番地109
tel.025-230-2661(代表) fax.025-228-0992(代表)
企画・株式会社新潟日報メディアネット企画・編集・協力/株式会社新潟日報

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

JA新潟厚生連ホームページURL
<https://www.niigata-kouseiren.or.jp/>

